

小 おのまち

議会だより

157号

平成31年
2月13日発行



一般質問をした子ども議会議員の皆さん

2 小野町子ども議会を開催

4 町民・議会懇談会報告

6 定例会12月会議

8 町政を問う！4人が一般質問

13 追跡！あの一般質問を検証

18 グループ紹介
小野町食生活改善推進員会

平成30年度 小野町 子ども議会を開催



むら かみ はる き
村上 遥希 議員
(浮金小)

議長として議会の進行役を務め、議事をスムーズに進めました。閉会のあいさつでは、何年か先に、ふるさと小野町のことをまた一緒に考えよう呼びかけました。



みや うち け え と
宮内 希恵登 議員
(小野新町小)

問 小野町が元気になれるようなイベント、「小野町お楽しみ会」を開催してはどうですか。

12月18日に第4回目となる「平成30年度小野町子ども議会」を開催しました。子ども議会は、次世代を担う子どもたちに、町政や町議会への理解と関心を深めてもらうことを目的に開催され、町内4小学校6年生の代表10名が参加しました。

当日は緊張感のある雰囲気の中、進行役を務めた村上 遥希議長(浮金小)を除く9名が子ども議員となり、小学生の視点から小野町の課題やこれからのまちづくりについて、町長に質問しました。

会場では、町内6年生全児童、学校関係者、町議会議員など多くの方が傍聴され、子ども議員からの身近な質問・意見に耳を傾けました。



ふじ た は な 議員
(小野新町小)

問 子ども達が地域の方々と交流する機会を増やすため、子ども屋台の出店をしてはどうですか。



せん さき はる と
先崎 悠杜 議員
(小野新町小)

問 夏井千本桜を、春だけでなく、どの季節でも楽しめるようにしてはどうですか。



くま がい
熊谷 もえ 議員
(小野新町小)

問 自然を生かした町おこしと、人が集まって交流できる場所を増やしてみてはどうですか。



おお たけ ゆう だい
大竹 雄大 議員
(夏井第一小)

問 観光客増加をねらった小野町内にある空き家の活用をしてはどうですか。



まし こ けん た ろう
増子 健太郎 議員
(夏井第一小)

問 統合した後の夏井第一小学校の校舎をイルミネーションスポットとして活用してはどうですか。



にい づま ひかる
新妻 洋 議員
(飯豊小)

問 町施設の利用や農地の貸し出しなど、小野町の自然を生かした活動を検討してはどうですか。



よし だ きら と
吉田 煌都 議員
(飯豊小)

問 子どもたちの運動をする機会が増えるように、アスレチック施設を建設してはどうですか。



いし い も も か
石井 萌々果 議員
(浮金小)

問 統合した後の浮金小学校の校舎を総合スポーツ施設にしてはどうですか。



町内小学校6年生全員が傍聴

町民・議会懇談会報告

小野町議会では、より多くの皆様に議会活動を知っていただくとともに、広く意見を聞く機会を設けるため、2回目となる町民・議会懇談会を町内3会場で開催しました。

「町民の健康づくりについて」「町づくり全般について」の2つをテーマにして懇談を行い、多くのご意見をいただきました。ありがとうございました。

広報広聴特別委員会

主な質問・意見等

皆様からいただきましたご意見については、今後の議会活動に反映していきます。

町づくり全般について

- 学校跡地利用の各地区(行政区)からの意見の集約
- 学校給食の残渣についての周知の実施
- 夏井千本桜駐車場のスロープの設置
- 県道小名浜・小野線の拡幅
- 中央さくら保育園脇の歩道橋の改修
- イノシシの被害対策の拡充
- 商店街活性化・空き家(空き店舗)対策
- 地域の環境整備において発生する剪定枝や側溝の土砂の対策



夏井地区:夏井多目的集会施設

町民の健康づくりについて

- 夏井千本桜の河川敷にウォーキングコースの整備
- 旧3町村単位でハイキングやウォーキングコースの整備
- 利用しやすい場所への運動器具の設置
- 健康に対する個人への意識付けの強化
- サロン事業への支援(参加者の増加、実施場所の確保、指導者の確保)
- 子どもへの肥満や虫歯への対策の強化
- 国民健康保険の人間ドック事業の充実(3年に1回)
- 塩分測定器のPR並びに利用状況や効果のアンケートの実施



小野新町地区:小野町多目的研修集会施設



飯豊地区:飯豊小学校体育館



定例会12月会議

12月6日～12日

平成30年小野町議会定例会12月会議は、12月6日から12日まで7日間の日程で開かれました。

会議では、平成30年度各会計補正予算、条例の一部改正など15件の町長提出議案と、議員提出議案1件が提出され、議案は14件が全員賛成で原案のとおり可決、2件が継続審査となりました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考え方をただしました。



▲本会議の様子

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	96万円	56億6790万円
特別会計		
国民健康保険	1億1198万円	13億379万円
後期高齢者医療	21万円	1億1416万円
介護保険	▲13万円	13億5001万円
浄化槽整備推進事業	19万円	7700万円
水道事業会計		
収益的収入	376万円	1億7081万円
収益的支出	449万円	1億6587万円
資本的収入	1231万円	6152万円
資本的支出	1296万円	1億1421万円

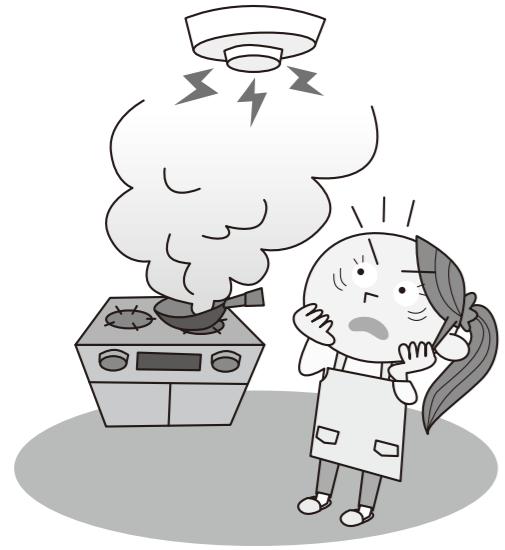
*1万円未満切り捨て

平成30年度各会計補正予算

平成30年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

※追加提出された平成30年度一般会計補正予算については、継続審査となつたため、含まれていません。



審議した議案と各議員の賛否

議案名	議案名												
	議員名	可否	渡邊直忠	会田明生	竹川里志	宗像芳男	田村弘文	籠田良作	水野正廣	遠藤英信	久野峻	佐藤登	吉田康市
平成30年度小野町一般会計・各特別会計等補正予算 6件		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	町長	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例について	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
福島県市町村総合事務組合規約の変更について	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
田村広域行政組合規約の変更について	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
郡山市と小野町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小野町一般会計補正予算	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
有害鳥獣被害対策の強化を求める意見書	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
田村広域行政組合規約の変更について	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度小野町一般会計補正予算	議員	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

*紙面の関係上、予算決算関係議案と人事議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

条例改正

条例の一部改正4議案を可決しました。
主な内容は次のとおりです。

議案名	一部を改正	規約の変更	費用弁償に関する条例の一部を改正
小野町立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例について	平成32年4月に新設する統合小学校の名称について、小野町総合教育会議において決定したこととに伴い所要の改正を行うものです。名称を福島県田村郡小野町立小野小学校とし、位置を福島県田村郡小野町大字小野新町字万景43番地に設置するものです。	地方自治法の改正により所要の改正を行います。監査制度が充実強化されたことに伴い監査委員の選任方法等について所要の変更、会計管理者及び事務局の設置等について整理するものです。	町長等の給与及び旅費に関する条例、議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例、職員の給与に

◆有害鳥獣被害対策の強化を求める意見書
◆人事案件
◆固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
◆連携協約協議
◆郡山市と小野町との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議について

提出者：竹川 里志 議員
提出先：農林水産大臣、環境大臣

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します
「会議録」をご覧ください。(2月下旬掲載予定)

渡邊直忠 議員 9ページ

- 1 103万円の壁について
- 2 農業と企業の連携による事業創出について
- 3 企業と小野町の農業振興協定締結について
- 4 産地パワーアップ事業について
- 5 地域再生計画について
- 6 小野インターチェンジ周辺開発について
- 7 おのまち熱中小学校について
- 8 本社機能の移転による自主財源確保について
- ◆ 9 小野新町・飯豊・夏井地区 「小さな拠点」検討協議会設立について
- ◆ 10 おのまち協働まちづくり条例制定について

会田明生 議員 10ページ

- 1 有害鳥獣駆除対策について
- ◆ ①イノシシ被害への対応策について
- 2 公共施設の運営について
 - ①公共施設の民営化について
- 3 協働のまちづくりについて
 - ①地域課題解決に向けた検討機会について
- 4 町長の政治姿勢について
- ◆ ①広域的な地域づくりにおける小野町の役割について

竹川里志 議員 11ページ

- 1マイナンバー制度について
 - ①マイナンバー制度の現況について
 - ②マイナンバーカードの有効利用について
- 2 小野町公共施設等総合管理計画について
 - ①計画の基本方針について
 - ②公共施設等の有効利用について

田村弘文 議員 12ページ

- 1 一般行政について
 - ①平成31年度当初予算編成の基本的な考え方について
 - ②自主財源確保が容易でない中での依存財源の確保について
 - ◆ ③定住人口の減少を抑制するための事業と予算措置について
 - ④地域資源の活用について
- 2 一般行政(おのまち総合計画の地域子育て支援)について
 - ①病児に対する一時的保育実施施設の計画について
 - ②認定こども園と子育て支援課の併設について



渡邊直忠 議員



小野新町・飯豊・夏井地区 「小さな拠点」検討協議会設立について



行政区長会での意識醸成や 議論の高まりが必要

町長 町を3つの地区に分け住民らが主体となり町の未来を話し合うことは意義

【問】 住み慣れた地域で暮らしが持続可能な暮らしを実現するために、持続可能な暮らしを実現するためにも、町は何ができるのか。 各地区での特有な問題・課題や今後の不安に対し、解決のために町主導で3地区に「小さな拠点」検討協議会を設置し、地区の将来ビジョンを作成するため、ワークショップ等の方法による地区住民が参加・議論ができる場を設けてはどうか。

【答】 深いと考えますが、現在、町では27の行政区において、それぞれの地区の問題の取りまとめや課題解決に向け区長を中心になればつていただいております。 小さな拠点検討協議会の設置やそこでの議論は行政区長会の議論の高まりも必要と考えており、集落支援の諸制度も踏まえ実施の機会を検討していきます。

【問】 小野町のまちづくりと課題問題解決のためにも、小野町の未来への計画づくりが必要である。この条例制定と実効性を高めるために、オール小野町で臨むことが大事で、おのまち協働まちづくり条例を制定すべきでは。

【答】 ある「未来へおのまち総合計画」を策定したところであり、その中には基本理念の一つとして協働のまちづくりを意味するオール小野町を掲げております。当面は新たに条例を制定するのに時間がかかるため、計画の理念の周知とこれに基づく

条例制定について

我が町は、昨年新しいまちづくりの基本計画を制定していると伺っております。自治体では住民と行政の協働社会の実現などをため、当該条例を制定しております。

未来へ おのまち総合計画

「人も自然も元気
みんなの笑顔が かがやくまち」
平成30年度～平成34年度





竹川 里志 議員



マイナンバーカードの有効利用について



費用対効果等も含め検討する

再質問 他の自治体ではマイナンバーカード事業の広域推進を進めていますが、将来的なサービス需要を踏まえ、マイナンバーカードの連携などを構築してはどうか伺います。



マイナンバーカード見本(おもて・うら)



マイナンバーカードの有効利用について



町民生活課長 マイナンバーカードは、きめ細やかな社会制度で公平・公正な社会を実現するとあります。しかし、取得した町民への利便性を町長はどう考えているのか伺います。

用策としては、健康保険証機能の搭載、図書カードなどの付加サービスを搭載する多目的カード、各種行政手続のオンライン申請によるオンライン取引が検討されているところです。

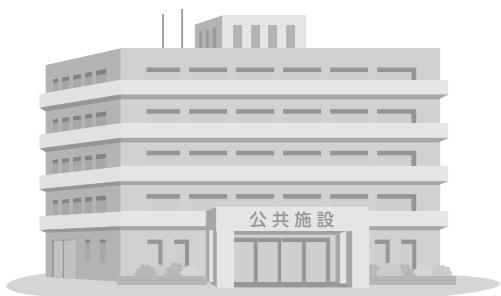
明書の取得につきましては、現在、全国の市町村の約3割の導入にとどまっています。これは、都市部において支所などを廃止することで、システムを導入して、システムを導入削減を図る代替策として、シス

テム等ではなく、システム導入の負担金や手数料等の負担が大きくなることが考えられるため、費用対効果も含め、検討していく必要があります。

本町においては、支所等はなく、システム導入費用対効果等も含めた上で、検討して参ります。



公共施設等総合管理計画に、マネジメントの基本方針や、進行管理等を掲げており、計画に沿って実施する考え方であります。保有総量の抑制、



マイナンバーカードの有効利用について



町民生活課長 マイナンバーカードのほか、狩猟者の減少・高齢化への対策として、狩猟免許の取得更新時の助成措置などを講じ、狩猟者の確保に努めているところですが、状況は深刻なものと思われます。

さらなる被害軽減のため、現在行っている個体数管理、電気柵などによる物理的防除のほかに、耕作放棄地の適正管理、森林の整備といった環境整備や、近隣市町村と一緒に協議して、狩猟免許の取得更新時の助成措置などを講じ、狩猟者の確保に努めているところですが、状況は深刻なものと思われます。

明書の取得につきましては、現在、全国の市町村の約3割の導入にとどまっています。これは、都市部において支所などを廃止することで、システムを導入削減を図る代替策として、シス

テム等ではなく、システム導入費用対効果等も含めた上で、検討して参ります。



公共施設等総合管理計画に、マネジメントの基本方針や、進行管理等を掲げており、計画に沿って実施する考え方であります。保有総量の抑制、



イノシシ被害への対応策について



現在の対策と併せ環境整備、広域連携を進める



会田 明生 議員

町長 イノシシによる農作物、農地への被害が多発し深刻な状況になっています。

町では、イノシシ被害軽減のため、捕獲や電気柵設置といった対策のほか、狩猟者の減少・高齢化への対策として、狩猟免許の取得更新時の助成措置などを講じ、狩猟者の確保に努めているところですが、状況は深刻なものと思われます。

さらなる被害軽減のため、現在行っている個体数管理、電気柵などによる物理的防除のほかに、耕作放棄地の適正管理、森林の整備といった環境整備や、近隣市町村と一緒に協議して、狩猟免許の取得更新時の助成措

テム等ではなく、システム導入費用対効果等も含めた上で、検討して参ります。

明書の取得につきましては、今後、関係機関と協議をしながら費用対効果等も含めた上で、検討して参ります。

このように情勢のもと、広域的な地域づくりにおいて、小野町の役割・存在感をいかに発揮していくかが、今後のまちづくりにおいては大変重要なことになりますが、町長はどうお伺いします。

このように情勢のもと、広域的な地域づくりにおいて、小野町の役割・存在感をいかに発揮していくかが、今後のまちづくりにおいては大変重要なことになりますが、町長はどうお伺いします。



広域的な地域づくりにおける小野町の役割について

町長 広域的な連携に関する協議についての議案が上程され、また、これまでも、田村市・春町・小野町での田村広域行政組合といた広域行政の枠組みでの行政運営や、ふくま高原道路沿線自治体との連携を図つ

ています。さらに、ふくしま復興再生道路の整備によって浜通り地域との結びつきが強まるなど、広域的な視点での取り組みについて、協議して参ります。

このように情勢のもと、広域的な地域づくりにおいて、小野町の役割・存在感をいかに発揮していくかが、今後のまちづくりにおいては大変重要なことになりますが、町長はどうお伺いします。



持続可能で最適なマネジメントを進める

将来更新費用の軽減、平準化、公共サービスの質的向上を念頭に

町長 公共施設等総合管理計画に、マネジメントの基本方針や、進行管理等を掲げており、計画に沿って実施する考え方であります。保有総量の抑制、

理解と協力を得ながら、持続可能で最適な公共サービスを提供できるようマネジメントを進めて参りたいと考えております。

このように情勢のもと、広域的な地域づくりにおいて、小野町の役割・存在感をいかに発揮していくかが、今後のまちづくりにおいては大変重要なことになりますが、町長はどうお伺いします。

このように情勢のもと、広域的な地域づくりにおいて、小野町の役割・存在感をいかに発揮していくかが、今後のまちづくりにおいては大変重要なことになりますが、町長はどうお伺いします。

追跡

どうなった? あの一般質問を検証!

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

小野新町駅前の公衆用トイレの整備促進について

質問

以前の一般質問において質問した駅前公衆トイレの整備促進については、観光誘客の推進を図るために早急に対策を講じたいとの答弁がありましたが、その後はどうに進んでいるのか伺います。

(平成30年定例会3月会議)

答弁

通勤通学者などの地元町民や観光客の利便性を図るために、駅前周辺の整備や公衆トイレの設置場所についてJRと協議を重ね、平成30年度当初予算において、設計業務の予算を計上していますので、ご理解をいただきますようお願いします。

その後



▲公衆用トイレの整備が待たれる小野新町駅前広場

問

定住人口の減少を抑制するための事業と予算措置について

答

子育て支援・移住促進のほか 在住者の転出抑制策も拡大

企画政策課長

度は総合戦略の最終年度となりますが、予算措置がなされる

対応するために、31年度はどのような事業が計画され、どの位の予算措置がなされる

ことがあります。それらに



コミュニケーションづくりの拠点となる「つどって おのまち」



田村 弘文 議員

ておのまち」を拠点とした新しいコミュニティづくりを支援していくたいと考えております。一方で在住者が町内にとどまる施

策も拡大させます。予算規模は平成30年度と同規模を想定しておりますが、効果が見込まれる事案につきましては、柔軟に対応していく考えであります。

町長 居住人口・交流人口の両方を増やしていくたいと考えております。移住される方々を歓迎し、今まで住んでいた方々にも住み続けていただける

あくまでおのまち総合計画の中に、現在実施していない病児の一時保育の実施とあり、保育施設の計画と取組について伺います。

町長 まずは、医療機関での実施を優先的に、関係機関との調整を進めたいと考えております。現在は、児童教育施設での体調不良による早退園児数等を調査し、病児保育の需要の把握や他の市町村の実施方法及び医療状況等の情報収集に取り組んでおります。

再々質問

あくまで居住人口にこだわるのか、それとも交流人口を増やしていくのか、町長の考え方を伺います。

答

問

病児に対する一時的保育施設の計画について

答

需要の把握や実施方法等の情報収集に取り組んでいる

一部事務組合議会議員の紹介

公立小野町地方総合病院企業団議会

小野町、田村市、平田村、いわき市及び川内村の2市1町2村で構成する公立小野町地方総合病院企業団の議会には、小野町議会から4名の議員が選出されています。

構成団体を代表して各地域の医療行政や法令に基づく議決事件について話し合いを行い、条例・予算など重要事項を決定しています。他市村議会より、田村市(3名)、いわき市(2名)、平田村(2名)、川内村(1名)計12名の議員が選出されています。



(左から竹川議員、水野議員、久野議員、渡邊議員)

田村広域行政組合議会

小野町、田村市及び三春町が共同処理する事務を行う田村広域行政組合が設置する議会には、小野町議会から2名の議員が選出されています。

1市2町のし尿処理、ごみ処理、最終処分場の運営及び情報センターの設置等の共同処理事務を行っており、条例・予算など重要事項を決定しています。他市町より、田村市(6名)、三春町(2名)計10名の議員が選出されています。



(左から佐藤議員、宗像議員)

郡山地方広域消防組合議会

小野町、郡山市、田村市及び三春町が共同処理する事務を行う郡山地方広域消防組合が設置する議会には、小野町議会から村上議長が選出されています。

2市2町の消防本部、消防署及び救急施設の設置運営を共同で行っており、条例・予算など重要事項を決定しています。小野町から村上議長のほか大和田町長、他市町より、郡山市(12名)、田村市(5名)、三春町(2名)計21名の議員が選出されています。



(村上議長)

特別委員会行政調査レポート

研修先：東京都
実施期日：平成30年10月10日～11日

広報広聴特別委員会 委員長

遠藤 英信

広報広聴特別委員会は、議会によりを充実させていくために、全国町村議会議長会が主催する平成30年度町村議会広報研修会に参加しました。

1 「読み手に伝わる文章の書き方」（講師：朝日新聞メディアプロダクション校閲事業部長 前田安正氏）
新聞や広報では、情報を正確に発信する必要があります。しかし、書き手と読み手の意識に矛盾が生じる場合があるので、客観的な視点が必要であること、文を書く際の主語と述語の対応、読み手が理解しやすい文章の作成伝えるべきことを前に出す」というて学びました。

2 「デザインの力で、もっと伝わる議会広報誌に」（講師：株式会社コンセント アートディレクター 筒井美希氏）
デザインの違う紙面を見比べてみるとことや同じ文章を使った記事を見比べてみながら、実際に理由を考え、強調する点や空白の使い

3 「最優秀賞及び優秀賞（総合2位）作に見る光彩を放つ編集力」（講師：グラフィックデザイナー 長岡光弘氏）
第31回町村議会広報コンクール最優秀賞の埼玉県寄居町議会「お元気ですか寄居議会です」と優秀賞の山形県川西町議会「かわにしがたより」をもとに、それぞれの議会により工夫されている点などについて、詳しく講師から説明を受けました。編集のコンセプトは違いますが、広報委員の議会広報誌にかける熱意が紙面を通して訴求されており、住民の目を惹く内容となっているとのことで意見交換を行いました。

企業対策特別委員会は、首都圏における工場立地の動向は、茨城県への工場立地が好調な理由は、圏央道開通の影響と、茨城県が東京都内に企業誘致本部を設置し、積極的な誘致活動を行っていることにあると思われます。国内事業活動の課題は、従業員立地件数の3項目で全国初の3年連続1位を達成しています。茨城県への工場立地が好調な理由は、圏央道開通の影響と、茨城県が東京都内に企業誘致本部を設置し、積極的な誘致活動を行っていることにあると思われます。国内事業活動の課題は、従業員立地件数の3項目で全国初の3年連続1位を達成しています。

そのため、地方自治体等に求め

る立地条件は、税制や補助金等の

優遇策よりも、人材の確保・育成へ

の支援強化を求める傾向が高まっ

ています。

工場立地が相次ぐ茨城県阿見町。企業立地等促進奨励金・雇用促進奨励金、工場見学施設設置奨

方、「写真やイラストの使用など、デザインによって見やすく、伝わる紙面づくりをすることがポイントです。大きな読みやすい文字による見出しの作成などが効果的である」ことを学びました。

研修先：福島県東京事務所
茨城県阿見町
実施期日：平成30年11月7日～8日

企業対策特別委員会 委員長

会田 明生

企業対策特別委員会は、首都圏における企業誘致活動の現状と、事例調査のため、福島県東京事務所並びに茨城県阿見町を訪問し、意見交換を行いました。

首都圏における工場立地の動

向は、茨城県への工場立地が好調な理由は、圏央道開通の影響と、茨城

県が東京都内に企業誘致本部を設置し、積極的な誘致活動を行

ていることにあると思われます。

国内事業活動の課題は、従業員

立地件数の3項目で全国初の3

年連続1位を達成しています。

茨城県への工場立地が好調な理由は、圏央道開通の影響と、茨城

県が東京都内に企業誘致本部を設置し、積極的な誘致活動を行

っていることにあると思われます。

国内事業活動の課題は、従業員

立地件数の3項目で全国初の3

年連続1位を達成しています。

そのため、地方自治体等に求め

る立地条件は、税制や補助金等の

優遇策よりも、人材の確保・育成へ

の支援強化を求める傾向が高まっ

ています。

工場立地が相次ぐ茨城県阿見町。企業立地等促進奨励金・雇用促進奨励金、工場見学施設設置奨

励金といった支援策のほか、県と

県内13市町村による圏央道沿

地域産業・交流活性化協議会での

展示会出展・産業用地視察会等の

取り組みを行っています。

一方で、ハローワーク土浦管内

の有効求人倍率は2倍以上と、新

規立地が相次ぐ半面、進出した企

業にとっては従業員確保に苦労す

る状況にもなっています。

従業員確保対策としては、就活

フェア、企業説明会、就職・転職フ

ェア、従業員向け奨励金の交付、ハ

ローワークとの雇用対策協定の締

結など、様々な支援を行っています。

企業立地が好調な地域におい

ても、従業員確保に苦慮している

現状です。当町にとっても企業誘

致、操業支援として必須の取り組

みです。当委員会としても最優先

課題として取り組んでまいり

ます。



▲茨城県や阿見町では、様々な企業支援を行っています。

議会活動トピックス

通年議会についての視察に来町（12月13日）

宮城県大郷町議会運営委員会の皆さんが、通年議会の取り組みについて視察に訪れ、意見交換を行いました。

〈大郷町の紹介〉

宮城県のほぼ中央に位置し、仙台市から車で約30分。「道の駅おおさと」や「支倉常長メモリアルパーク」などに多くの観光客が訪れています。



大郷町議会運営委員会の皆さん



「道の駅おおさと」※全国道の駅連絡会ホームページより転載

議会活動トピックス

議員提案の条例制定・ 通年議会についての視察に来町（11月9日）

議会事務局実務研究会（事務局長 香川純一氏（東京都町田市職員）・呼びかけ人 吉田利宏氏（元衆議院法制局））の皆さんが、議員提案による条例「小野町図書・新聞に親しむ条例」の制定や通年議会への取り組みについて視察に訪れ、意見交換を行いました。



条例制定について活発な意見交換を交わす

こおりやま広域連携中枢都市圏連携協約締結式と 広域圏フォーラムに参加（1月23日）

郡山市と近隣14市町村において、産業・福祉・交通など様々な分野で連携して取り組んでいくための連携協約の締結と制度の理解を深めるなどの目的でフォーラムが開催され、参加しました。



連携協約の締結書を手にする市町村長



連携協約締結式に参加

平成30年産葉たばこの 買い入れ状況を視察（12月10日）

厚生産業常任委員会では、須賀川市にある「日本たばこ産業(株)中日本地方原料本部」を訪問し、小野町産の葉たばこの買い入れ状況を視察しました。

【小野町産の葉たばこ買い入れ実績】

年産	人員(人)	面積(a)	重量(kg)
平成30年	28	1,944	49,721
平成29年	31	2,229	54,895

※面積及び重量は小数点以下四捨五入



葉たばこの買い入れ状況を視察

議会活動日誌

11月

- 1~2日 全国町村監査委員研修会（東京都）
- 1日 福島県町村議會議長会理事会（福島市）
- 5日 小野高等学校生徒交流派遣研修結団式
- 6日 第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会小野町チーム激励会
- 7~8日 企業対策特別委員会行政調査（東京都）
- 9日 月例全員協議会／議会事務局実務研究会視察来町
- 11日 小野町商工会青年部設立50周年記念式典
- 12日 議会改革特別委員会専門部会／公共施設検討特別委員会
- 12~14日 町民・議会懇談会
- 15日 全国過疎地域自立促進連盟理事会・定期総会（東京都）
- 19日 第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）
- 20日 第9回田村交通安全大会／公共施設検討特別委員会
- 21日 町村議會議長会全国大会（東京都）
- 23日 小野町功労者表彰式
- 27~29日 平成30年度定期監査
- 27日 例月出納検査
- 29日 平成30年度サマーキャンプ中学生の翼報告会
- 30日 除雪車出動式

12月

- 1日 小野町イルミネーション点灯式
- 3日 議会運営委員会／全員協議会／予算決算常任委員会
- 6~12日 小野町議会定例会12月会議
- 10日 平成30年産葉たばこ買い入れ状況視察（須賀川市）
- 12日 月例全員協議会
- 13日 宮城県大郷町議会運営委員会視察来町
議会改革特別委員会専門部会
- 18日 平成30年度小野町子ども議会／総務文教常任委員会
議会運営委員会／全員協議会／小野町議会12月第1回会議
- 19日 福島県市町村総合事務組合臨時議会（福島市）
- 20日 田村広域行政組合議会議会臨時会（三春町）
- 21日 例月出納検査／議会改革特別委員会専門部会
- 23日 小野町老人クラブ連合会芸能発表会
- 26日 郡山地方広域消防組合議会臨時会（郡山市）
- 27日 公立小野町地方総合病院企業団議会定例会

1月

- 4日 小野町消防出初め式／新年交礼会
- 5日 小野町新年交通安全祈願祭
- 10日 月例全員協議会／議会改革特別委員会専門部会
- 13日 小野町成人式
- 15日 沖縄県立八重山農林高等学校来町
- 18日 福島県町村議會議長会正副会長会議（福島市）
福島県町村議會議長会理事・幹事合同会議（福島市）
県南地方町村議會議長会連絡協議会会議（福島市）
- 23日 こおりやま広域連携中枢都市圏連携協約締結式（郡山市）
議会改革特別委員会専門部会
- 25日 例月出納検査／広報広聴特別委員会

グループ紹介

小野町食生活改善推進員会

町の委嘱から、ボランティア組織に移行して30年、「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、減塩活動、野菜たっぷり推進活動を通じて、子どもからお年寄りまでの健康を願い、活動しております。

今年度は、地域の健康栄養教室への出席要請もあり、町の保健師さんとともに出かけ、地域の方々とともに料理を作ったり、お話をしたりという活動をさせていただきました。

現在、23名（男性1名、女性22名）の会員で活動しておりますが、新規会員を募集しております。ふるさとの伝統食の継承や若い人たちの知恵も取り入れたいと思います。男性、女性を問いませんので、ぜひご加入をお願いします。申し込みは、役場健康福祉課までお願いします。



会長 先崎 サタ子さん

会員数:23名



放課後児童クラブ「おやつ教室」の様子



食生活改善推進委員会県中地区大会の様子



平成31年
2月13日発行

157号

発行者／福島県小野町議会
編集／広報広聴特別委員会

〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻

0247-72-2111
FAX 0247-72-2111
92

議会からの**お知らせ**

定例会3月会議は

3月7日(木)から開会します。

一般質問は3月8日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!



※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

議会からのお願い

議会だよりの取材のため皆さんのところにお伺いします。
ご協力をお願いします。

小野町議会

【広報広聴特別委員会】

委 員 長	遠藤 英信
副 委 員 長	吉田 康市
委 員	佐藤 登
委 員	水野 正廣
委 員	宗像 芳男
委 員	竹川 里志
委 員	渡邊 直忠
オブザーバー	村上 昭正

そんな中、皆さんに読んでいただけるようよい「議会だより」を目指して編集の見直しを進めています。皆さんは「変わったな」と思われましたか。

また、全国町村議会議長会が主催する平成30年度町村議会広報研修会に参加し、学びました。

議会だよりを通して議会活動を知つていただき、関心を持つていただければ幸いです。

気象庁は、1月の天候まとめを発表しました。北日本の降水量は少なく、いわき市ではゼロミリ。小野町も降水・降雪量ともに少なく、水不足が心配されます。

世界的に異常気象ですね。

4回目の開催となる小野町子ども議会では、各小学校代表の子ども議員から未来の小野町へ向けての質問が行われました。

表紙の写真



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会

検索

小野町議会のホームページもご覧ください